

なったなあ」「力がついてきたあ。」と思います。かなり難しい本を読んでいる子も増えました。

まだまだたくさん成長したところがあります。ご家庭で、子どもさんがこの一年で成長したところを搜してみてもいいか
がでしょうか。

もうすぐ五年生、四年一組の子の入りたいクラブベスト3は
これです。



1. 卓球

2. ソフト

3. バドミントン

1. ホーム

2. 手芸

3. 料理

四、学校ニュース

九八二名(児童数)でスタート!

新しい一年生二七八名を迎え、総勢九八三名で平成四年度の上地小学校がスタートしました。新しい学年・クラス・友達・先生と、気持ちを新たにして子どもたちは大張り切りです。

児童会活動の中心となる、六年生も意欲満々です。そこで、児童会各委員会の委員長さんに抱負を聞いてみました。

緑化委員会

去年の委員長に引き続き、もっと新しいことや、今までにやっていないことをやりたいと考えています。

六の二 千原 大地

赤十字委員会

毎年やっているベルマーク集めのほかに、赤十字委員会として、今までやったことのないものに挑戦したい。

六の四 鈴木 康生

放送委員会

みんなで協力して、全校生徒のみんなが楽しみにしているような放送をしていきたいです。

六の二 安田 晃

給食委員会

給食を食べた量を調べたり、マスクを調べたり、エプロンをきちんとたたんであるか調べたり、楽しく、きちんとした給食となるようにしたい。

六の一 大場 菜央

運動委員会

運動会、球技大会などの他に、新しいものを取り入れ、みんなに一層楽しんでもらいたいと思います。

六の四 加藤 有二

図書委員会

みんなに本を好きになってもらうため「ぼく、わたしのすすめる本」などいろいろ楽しい計画をしていきたいと思っています。

六の二 服部 哲也



保健委員会

みんなに、いろいろなけがの手当ての仕方など覚えてもらうように努力したい。

六の一 鈴木 剛

安全委員会

意見を活発に、たくさん言える委員会にしたい。安全委員として自覚を持ち、委員会では全員が一回は意見を言えるようにしたい。

六の一 福田 達也

なかよし集会委員会

みんなが楽しんでくれるような集会にしたいと思う。去年と一緒のことでなく、新しいことに挑戦したい。

六の一 小石健太郎

美化委員会

いつも、整理整頓をして、美しい上地小学校にする。楽しい委員会活動にしたい。

六の三 金井 穂高

新聞委員会

新しいことに挑戦して、みんなに新聞委員会のことを知ってもらえるようにしたい。すぐく大きい壁新聞を作りたい。

六の三 竹内 貴幸

広報委員会

えんぴつとろうの黒板の絵や一・二・三階の掲示を工夫してはりたい。コンクールも計画したいです。

六の二 熊谷 和彦

V T R 委員会

みんなが「あつと」驚くようなアイデアをしぼり出し、できる限り実行して生きたい。

六の五 久保田隆至

ドレミファ集会委員会

昨年とは違う変わったことにも挑戦し、全校のみなさんが楽しめる活動をしようと思いません。

六の五 白濱佐知子

どの委員会も、やる気十分ですね。今年の児童会活動に大いに期待したいと思います。

読書月間行事

本の価値は、読むという行為の中にあると思います。読まなくては、そこに何の価値も生まれません。そこで、子供たちが自らの意志で読むことができるように、援助し、組織し、指導することが大切になってきます。本校では、昨年度より、図書館教育に力を入れてきました。たとえば、読書タイムの設置、読書月間における読書の啓蒙、親子読書の推進、教科の学習における図書の活用などです。その結果、子供たちが足繁く図書館に通うようになりました。時間があると、読書にふける子供の姿を多く目にするようになりました。

今年もひとりでも本に親しみ、自ら学習する意欲がもてるようにと願い読書指導に力を入れています。

今から六月から始まります読書月間行事について紹介します。

・期間・・・六月一日(月)から六月二十八日(月)

・内容

(一) でんでんむし読書

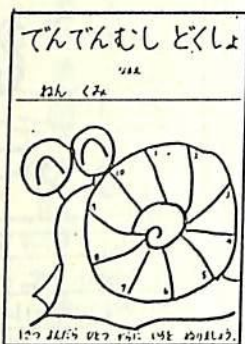
読書月間に学年の目標の本を読みます。

一・二・三四年 十冊

五・六年 五〇〇ページ

読む時間は、読書タイム、放課、朝の会、家で読む時間です。

読む本は、マンガ、雑誌以外ならどの本でも良いです。



(一) 読書ゆうびん

読んだ本の感想や、友達に読んでほしいというすすめなどを、文章や絵などをハガキに書くものです。ハガキは、全員に一枚ずつ配ります。今回は、書いてくれた子のハガキは全部中日新聞が募集している「読書郵便コンクール」に応募する予定です。一枚では足りないという子は二枚でもいいです。なお、官製はがきを使って、家からでも応募できます。応募先は次のところです。

〒460-1111
名古屋市中区三の丸1-6-1
中日新聞本社 文化事業部

「読書ゆうびん
コンテスト」係

| 郵便番号 | | 住所 | | 学校 | | 学年 | |
|------|--|----|--|----|--|------|--|
| | | | | | | | |
| 氏名 | | 姓 | | 名 | | 姓 | |
| | | | | | | | |
| 年齢 | | 性別 | | 所属 | | 学年 | |
| | | | | | | | |
| 家族構成 | | 父 | | 母 | | 兄弟姉妹 | |
| | | | | | | | |
| 趣味 | | 読書 | | 絵 | | その他 | |
| | | | | | | | |

〒460-1111 名古屋市中区三の丸1-6-1 中日新聞本社 文化事業部

(二) 見つけたよ・調べたよコンクール

授業で本を使って調べたこと、新聞などを読んで調べたことをまとめたノートの展示会です。低学年は、虫や魚などを捕まえてたり、飼ったりして見つけたことなどをまとめるのです。きっと、新しい発見があると信じています。高学年の子は、本の見つけ方やまとめ方が上手になると思いますが、図書館の本は、本の中身によって仲間分けがしてあります。簡単に記しておきます。

(四) 先生の紹介する本

先生方が、昼のテレビ放送で、本を読んだり、おもしろい本の紹介をします。どんな本を紹介してくださるか楽しみにしててください。

(五) その他

・図書委員会云々

図書委員の子供たちが企画した行事があります。五・六年が参加する辞引き大会・一年から三年生が参加する主人公あてクイズ・四年生が参加する作者あてクイズなどです。図書委員の子もやる気になって頑張っています。

・献本運動

上地小学校は新しい学校で、毎年蔵書を増やしてきているのですが、まだまだ子供の需要に応える数がありません。全国学校図書館協議会「学校図書館数量基準」に照らしてみると、一三〇〇冊が基準ですが六七〇〇冊しかありません。そこで、各ご家庭にあります児童用の本で、学校にあげてもいい本を献本してもらい、子供たちに読ませたいと思います。詳しいことは、別紙にてお願いする予定ですが、何とぞご協力のほどよろしく願っています。

・親子ふれあい読書

昨年度、「もみじ読書」のころにお願いした「親子ふれあい読書」どのくらいやれたでしょうか。お母さんと子供とで、楽しい本を読むことは、本に親しみを持たない子供でも、たいては苦痛にならないことだと思えます。わずか、十五分かに十分の読書でも、毎日繰り返し返されるとしたら、一か月のうちには、二冊や三冊の本は、読み切ってしまうことができます。テレビのスイッチを切って、読書する時間を持つてみませんか。



6年 竹井 聖子

5年 横山 恵理

ふるさとを知らう

「わたしたちの町うえじ」発行される

上地小学校 長坂 信一

十周年を契機に約二年程をかけて、長年の夢であった郷土読本『うえじ』を編集発行することになりました。上段に写真、グラフ、地図、下段に縦書きで本文というように、子供たちが読みやすく編集しました。

六月二十日(土)には、「岡崎ホームニュース」にも紹介され、学区内外に反響を呼び始めました。学区内外の個人注文が数十人ほどになりました。編集したものにとって、嬉しい限りです。高学年の児童は、本が手に渡されるやいなや、目を輝かせてページをめくっていました。しばらくして、

「家の近くが写っている」「あれっ、お兄ちゃんだ」という声が上がリ、関心の強さを感じました。

四年生は学習進路と本の内容が一致し、早速学習に生かしました。ごみの学習では、子供たち自身が調べた取

集日と比べていました。上地配水場の見学では、本の完成を前にできたての原稿を利用して学習しました。

一年生は担任が本のカラーページと一緒に見ながら、「みんなの近くに、こんな所があるんだね」と自分たちの家の回りを意識させました。校章になっているケヤキの木もわかりました。これから二期期にかけて『生き物・草花遊び』の学習があるので、「上地の四季」を読み合いました。

「それなら見たことがある、家で飼ったことがある」と子供たちの反応も十分でした。

三年生では、学校の周囲と学区の高さの違いで、見学後の学習に使っています。これからの学習で、「商店」や「工場」の見学があり、利用を楽しみにしています。

二年生は六月二十日に柳川へほんつくに行きました。生活科「生き物をかおう」にびったりの内容が「学区を流れる川・湿原」です。当日は朝から顔つきが違いました。途中で雨が降ってきましたが、そんなことでは子供はひるみません。六年生は今歴史の学習です。鎌倉時

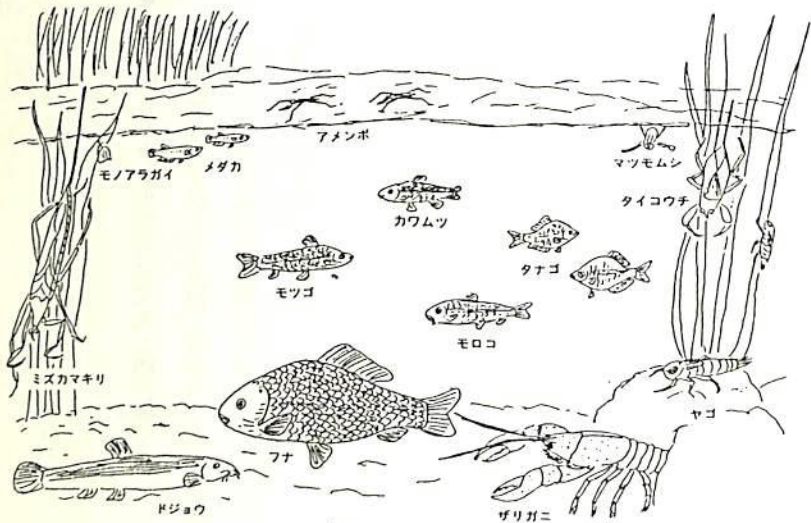
平成4年6月20日 土曜日 (4)

できた郷土読本「わたしたちの町うえじ」

全13章、読み易い内容

学区・学校 創立10周年を記念
子供のいじめや虐待、思春期の悩み、十四歳までの発達、
での教育環境や生活環境、上段、地図や写真、図表、
「うえじ」が紹介された。また、学区内の歴史、
上地学区、学校創立十周年を記念して、
多岐にわたる分野で、
先生より「うえじ」の発行が、
「うえじ」の発行が、

十三歳で成、
ラフ、下段に本文の縦書きで、
イラストで、
から読めるように、
います。
学校では副読
本、家庭でも
学区では、
学区の歴史として、
学区の歴史として、



水辺の魚や昆虫

失われつつある上地の自然の一部
(本文P114)

「岡崎ホームニュースの紹介記事」

代のあたりですから、その頃に関係が深い上地八幡宮とか鎌倉街道、吉良道などを本で確かめつつ学習を進めました。上地発見テストをやりながら、鳥や植物なども調べました。

● 職員室にきた植村さんは『うえじ』の本を最初から最後まで読んで、

「どこが上地八景なのか良く分かって、上地八景の絵はがきを思い出した。矢崎の古窯発見の新聞記事は、虫めがねで読んだ。」

と言っていました。

● 今年新しく上地小学校に見えた熊谷先生は、

「上地の様子がとても良く分かり、クラスの子供はもちろん、大人も大変勉強になった。」
と言っていました。

● 一緒に来た畔柳さんは、

「鳥や魚の種類が分かった。自分で読んでみて、学校ができてからどうなってきたか良く分かった。上地にも工場があると分かった。物語のところも好きなのでおもしろい。」

● 『うえじ』の編集責任者である成瀬司さんに反響を聞いてみますと、成瀬さんの話題が出たり、とにかく読みやすい本でよい、という人が大勢みえるそうです。

これからもこの『うえじ』が長く有効に使われていくことを望んでいます。

● 『うえじ』の本に上地地区の移りかわりがのっています

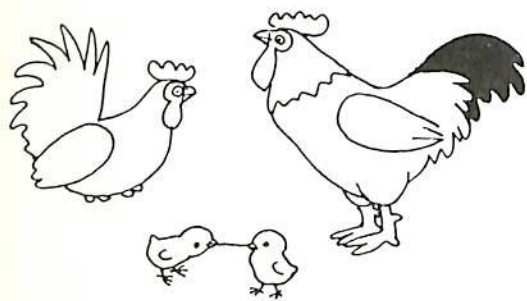
ですが、本当に十数年前と比べたら、驚くばかりの発展ぶりです。実はわが家は、緑丘で家を建てた第一号です。中電さんに出かけて、電柱を引いてもらう交渉から自分たちで、致しました。苦労してきましたので今の姿は信じられないものがあります。

奥山田池も水はもうひとつですが、魚は結構住んでいるようで水鳥もたくさん寄ってきますし、周りの林にいろいろな鳥が来て、とても良いところですよ。・・・

かわせみの写真を提供して頂いた 白井百合子さん

● ついに完成しましたね郷土読本『うえじ』が。校長室でああでもないこうでもない、といういろいろ話し合った事が思い出され、新鮮な気持ちで読むことができました。

一人で作ったら、こうはいかなかったと思います。やはり先生方一人ひとりの知恵を寄せ集めると素晴らしいものができるんですね。・・・



交通事故が多発しています。今年も、愛知県は全国で二番目に多い交通事故死数という不名誉な記録を作っています。子供たちの通学途中にも危険なところがたくさんあります。朝の登校時、一斉下校の時など上級生が引率して安全な登下校となるように気をつけています。九月の月曜集会で校長先生が次のような手紙を紹介しました。

とつぜんの手紙で、びっくりされたでしょうか。私は、あまりの嬉しさに、先生にぜひ聞いて頂きたくて、ペンをとってしまいました。

私は、毎日車で配達する仕事をしています。額田の山の方から蒲郡の方面まで走っています。上地小学校の近くも一日に二回ほど必ず通ります。車の仕事は、一日に一回は危ないことがあり、一日中神経の休まる日がありません。

歩行者や車は自分勝手な人々が多く腹が立つことが多くあります。そんな中で今日十一時四十分頃です。

上地小学校の市民ホームへ行く方の四つ角のできごとです。

私が市民ホームの方から走っていると、集団下校の様子が見えました。そして横断歩道に来た時です。

下校の子供たちがたくさん来ました。私は止まって待とうと思いました。でも、女の子

の班が二組くらい歩道を渡った時です。その後ろに来た男子の班の班長さんらしき子が低学年の子たちを止めたのです。そして、手で私に「どうぞ。」と、しぐさをしてくれました。私は、頭をベコッと下げて通させてもらいました。

通った後の気分の何とすがすがしく、嬉しかったことか。

車の社会では、横断歩道を渡る歩行者が優先ですが、気をきかして通してくれた班長さんの気持ちが嬉しく思いました。他の学校の近くも一日に何回か通ります。しかし集団下校の時は、信号の所では信号が変わるまで通れない時があります。確かに歩行者優先なのですが、後ろに何台も曲がる車がある時は、ウーン！と思ってしまいます。信号のついていない所では、特にダラダラと渡る子もいます。しかし、車の仕事をしている私は子供たちが渡る時は止まるようにしています。

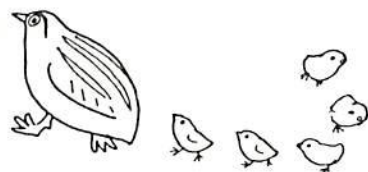
そんな中で、久々の、気分の良い行動をしてくれた班長さんと、私が通るまで待ってくれた上地小の子たちに感謝します。

ありがとう、自分の住んでいる学区だからよけいに嬉しかったんです。・・・

この手紙を通して、交通安全の基本は、歩行者も運転者も譲り合う心(思いやりの心)が大切であることを学ぶことができました。



(5年 日比野 あゆみ)



修学旅行無事終わる

六年生が楽しみにしていた修学旅行も無事終了しました。奈良、京都方面一泊二日の旅でした。岡崎市では、連合小学校修学旅行として、市内四一小学校を六班に分け、十一月二四日（水）から始まりました。上地小学校は、三班として、二六日・二七日の二日間でした。朝六時一五分、まだ薄暗いうちに、市営南駐車場横のグラウンドに集合し、多くのご父兄の見送りを受け元気に出発しました。朝早いにもかかわらず、集合時刻の五分前には、どのクラスも全員集合し、さい先よい出発となりました。幸い、お天気にも恵まれ、二七日夜八時には、全員元気な顔で帰ってきました。どの子も、楽しい思い出を、家の人にお話したことでしょう。今年の六年生の修学旅行コースを紹介しましょう。

JR岡崎駅ー（臨時電車）ー名古屋ー（新幹線）ー京都駅ー（観光バス）ー法隆寺ー（観光バス）ー奈良ー（徒歩）ー奈良公園ー（観光バス）ー京都（本能寺会館宿泊）ー新京極（買い物）
京都（本能寺会館）ー（観光バス）ー平安神宮ー（観光バス）ー清水寺ー（観光バス）ー銀閣寺ー（観光バス）
ス）ー金閣寺ー（観光バス）ー映画村ー（観光バス）ー二条城ー（観光バス）ー京都駅ー（新幹線）
名古屋駅ー（臨時電車）ーJR岡崎駅

六年二組の子どもたちに、印象に残った見学地を聞いてみました。

第一位 金閣寺
第四位 銀閣寺

第二位 新京極（買い物）
第五位 東大寺（大仏）

第三位 映画村

小学校時代の楽しい思い出をいつまでも大切にしたいものです。

以上のような結果になりました。

おいしい焼きいも

一年生の子どもたちが、丹精こめて育てたさつまいもは、豊作でした。大小あわせて千数百個のさつまいもを収穫することができました。生活科の一環として、授業として取り組んだ成果です。一年生は、収穫の喜びを味わうとともに、学校の落ち葉を集めて焼きいもを作りました。

また、畑を貸して下さった成瀬さんをお招きして楽しい「おいもパーティー」も開かれました。「おいもパーティー」では、楽しい催し物のほか、お母さんたちの協力でおいしい『大学いも』を味わうことができました。アルミはくで包んで焼いた焼きいもは、ほかほかで、とてもおいしくできました。二年生、三年生、四年生も、おすそ分けのさつまいもで、焼きいもを作り、おいしくいただくことができました。

生活科の目標に次のような内容が上げられています。

「具体的な活動や体験を通して、自分と身近な社会や自然とのかかわりに関心を持つ。自分自身や自分の生活について考えさせると共に、その過程において生活上必要な習慣や技能を身につけさせ、自立への基礎を養う。」

さつまいもの栽培から、「おいもパーティー」までの一連の学習は、感性豊かな児童の段階で、自然とのかかわりを深め、自然のすばらしさ、不思議さを体得するだけでなく、勤労の大切さ、収穫の喜び、友達との協力など、生活科のねらう多くのことを体験できました。一年生の子どもたちが、大きく成長したのは言うまでもありません。

（菅沼剛）



おおいもパーティー

冷水機のご寄贈

（故辻村正共六生会会長のご遺族さまより）

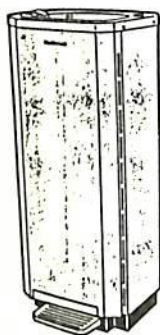
去る九月に亡くなられた上地学区老人クラブ「共生会」会長の辻村正先生のご遺族から、「小学校の皆様のお役に立ててほしい」とのお話がありました。

先生は以前、岡崎市内の小学校の校長も歴任された方でもあります。上地六丁目四十の八番地にお住いのご長女辻村睦子様
が来校され、「生前、父は上地小学校のことをよく口にしていましたので、子どもさんたちのために使うことに使って下され
ば」と金十万円のご寄贈を賜りました。

そこで、十二月十五日に「ウォータークーラー」を一台、児童玄関入口に設置させて頂くことができました。

松田電気商会さんの施工で、ナショナル製自動洗浄方式の冷水機を増設できました。これで、今までの二台に加え三台とな
りました。

子供たちも新しい冷水機に大喜びです。学区の皆様も、ご来校の折には、お気軽にご利用下さい。辻村さまに心
からお礼申し上げます。



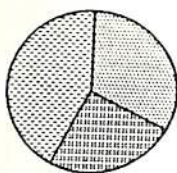
保護者の出身地アンケート結果

二学期に、上地小学校保護者の出身地の調査をさせて頂きました。その結果について報告します。

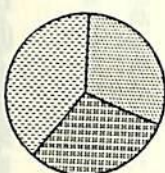
学区・学校創立十周年記念事業も学区の皆さんの熱心な取り組みにより成功裡に終えることができました。これを機に学区
の現況を再確認し、更に発展する材料となればと思います。

保護者の居住年数

父



母



A 市内
B 県内
C 県外

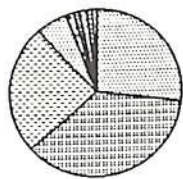
上のグラフからもわかるように、居住年数十年以内までが六十八
ーセント越えてしまいます。学区・学校の創立とともに急激に成長
したことが良くわかります。

居住年数十五年以内までが八十八パーセントを占めます。学区全
体の調査ではありませんが、区画整理事業の完成による、人口の急
増もグラフから読み取ることができます。

新しく、活気に満ちた学区は、上地学区を新しい「ふるさと」と
した、多くの方々の力が大きいと思います。

「上地学区親子夏祭り」「上地学区民体育祭」等々の行事を通し
て、『ふる里上地像』に象徴される、すばらしいふるさと上地が創
られていくと思います。

保護者の出身地



| | | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 5年以内 | 10年以内 | 15年以内 | 20年以内 | 25年以内 | 30年以内 | 35年以内 | 40年以内 | 41年以上 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

父、母ともに市内・県内で約六十パーセントを占め、同じような形のグラフになりました。市内と県内で比べますと、ほぼ同じ位ですが、わずかに市内出身者の方が多いようです。

グラフからもわかるように、市内、県内、県外の割合がほぼ同じというのもおもしろいですね。

全体の三分の一を占める県外のかたがたの出身県について見てみましょう。

まず、第一に全国各地から上地にこられた方が多いことに驚かされます。山梨県と沖縄県を除いた全都道府県からという結果が出ています。保護者以外の方で、山梨県と沖縄県の出身の方がみえる可能性が高いので、上地学区全体で見れば、全都道府県から集まっているといってもさしつかえないように思います。

県外出身の方の内訳について見ると、やはり、静岡、岐阜、三重という東海地方が多いようです。

九州出身の方が意外と多いという特徴もあります。

全国各地の、それぞれのふるさとの良さを反映し、新しいふるさと上地が、ますます発展していくものと思います。



菅沼 剛

上地学区交通少年団発足記

菅沼 剛

交通事故は年々増加をたどり、愛知県は毎年全国のワースト記録の上位を占めています。上地学区も国道二四八号線、衣浦線という幹線道路が通り、交通事故の危険が増加しています。昨年度は、PTAを中心にして、「上地学区交通安全地図」を作成し、学区の各家庭に配布しました。学区民の交通安全意識の高揚に大いに役立つことができました。学区挙げての交通安全意識の高揚とあいまって、子どもたちの意識を高め、少しでも悲しい交通事故をなくそうという願いを込めて上地学区交通少年団が結成されました。

交通少年団について紹介します。

目的

- ・ 自主的な活動を通じ、交通安全の意識を高め、交通規則の遵守に努める。
- ・ 交通安全についての知識を高め、奉仕と協力融和の精神を養う。

活動方針

- ・ 交通ルールを守り、他人に迷惑をかけず、進んで模範となる。
- ・ この活動をみんなと共に進める楽しさを味わい、健康な心をやしなひ、広く社会に奉仕する。
- ・ 交通安全を中心とした活動を通じ、地域の明るい町づくりに協力する。

組織

- ・ 上地小学校の児童で組織する。

役員

・団長 安田 晃 ・副団長 服部 哲也 ・副団長 白濱 佐知子
 ・分団長 大平 友希 小山 泰平 川合 満 松井 正憲 野本 真行
 浅野 佳 服部 哲也 石黒 八枝 矢田 敏勝 小野 勲

交通少年団の活動を指導育成するため、育成協議会が次のように組織されています。

顧問 渡辺 五郎 (市議会議員) 深津 武司 (小学校長)
 会長 成瀬 司 (総代会長)
 副会長 柴田 勝 (社教委員長) 宇井 均 (PTA会長) 藤田 助次 (交通指導員)
 庶務 松原 昶三 (小学校教頭)
 会計 長坂 信一 (小学校校務主任)
 会計監査 山本 克典 (PTA副会長) 佐々木優子 (PTA生活指導部長)

岡崎市内で三十団目の交通少年団が発足しました。交通事故のない明るい上地学区となるよう、これからの活動に期待したいと思います。

二月八日、上地学区交通少年団結団式が行われました。中井岡崎警察署長、都築岡崎地区育成協議会長、岩月教育委員会指導部長、渡辺市議会議員、市川交通官、中垣交通安全課長ら多くの来賓、そして成瀬司総代会長をはじめとする学区諸団体の方々の参列を得、盛大に行われました。

五・六年生による「誓いのことば」は、参列者に感動を与える程の力強く立派なものでした。また、上地っ子らしい元気な声で愛知県交通少年団歌「みどりのそよ風」を歌いました。

会場全体に交通安全に対する決意がみなぎったことは言うまでもありません。

結団式終了後、柴田社会教育委員長より『上地学区交通安全宣言』の提案があり、大きな拍手により採択されました。

『上地学区交通安全宣言』の全文を次のページに示します。

会終了後、三・四・五・六年が参加して、県警プラスバンドによるドリル演奏を参観しました。

さびさびした動作で繰り広げられるすばらしい演奏に子どもたちは大喜びでした。

●ボンボンを持って110とかいたのが、とてもきれいでした。おおきなラッパを見たらびっくりしました。さよならをしたくなりまりました。

三年 池田奈菜子

●ラッパをうごかしている人は、とてもしんけんでした。ほくも、しんけんに見ました。・・・

三年 佐野 友都

●県警の演奏を聴きました。とてもかっこよくて、きれいでした。力強くて、まとまっていた。

演奏だけじゃなく、女の人が曲にあわせてすばらしい動きを見せてくれました。楽しかったです。

五年 横山 恵里

●県警の演奏をとても楽しみにしていました。みんな、びっぴと止まったりしてすごかった。よっぼど練習したんだなと思いました。

五年 山本 佐弥

上地学区交通安全宣言

愛知県下における交通事故死亡者数は、本年二月七日で五十八名（昨年同期三名増）を数え、岡崎警察署管内では四名に達し極めて憂慮すべき状況下にあります。そして、国道二百四十八号線と県道衣浦線が南北東西に走行する上地学区でも、この傾向は同様であります。

交通事故は多くの人命を奪い、傷つけ、当事者だけでなく幸せな家庭の崩壊を招くなど誠に悲惨かつ残酷なものであります。

こうした不幸から、この上地学区民を守るため、先にPTA・総代会・社教委員会・交通安全分会は連名で「上地学区交通安全地図」を作成し全家庭と関係諸団体に配布し、合わせて今年に入ってから、学区内交通安全諸施設の再点検活動の展開など安全意識の高揚に努めてきました。

今後は学区内交通安全施設の整備などを一層強力に推進すると共に、学区民一人一人が交通ルールを守り、交通事故防止に立ち上がらなければなりません。

よって、ここに、私たちは岡崎市交通事故死県下ワースト1の汚名を返上すべく、本日の上地学区交通少年団結成を期に交通事故根絶に向け上地学区民一丸となって邁進することを決議します。

平成五年二月八日

上地学区交通少年団結団式参加者一同

十ふれあい牧場だより

平成三年十二月～平成五年三月

上地小学校

長坂 信一

●十二月九日（月） 音楽△△の最中にごん太が・・・

きのうの日曜日、ごん太は一度ころぶと自分ではすぐには起き上がれないような状態でした。今日は「上地っ子文化祭」で子供たちはとてもにぎやかです。そんな中でも、飼育の子たちは『ふれあい牧場』をのぞいてくれます。横になりっぱなしのゴん太を見ては、心配顔をしてごん太に話しかけています。

午前中は文化の香りも高く名古屋シテイ楽団の演奏会です。体育館ではすてきな音が広がっています。そんな中ちょうど、十一時ころ、牧場ではごん太がすうつと息を引き取りました。オスのヤギなんだけれどとてもやさしくて、みんなの人気者でした。原因はとも良くわかりません。せつかく立派な小屋ができたのに、中に入るべき主人公がいません。

やぎを長く飼っている人に聞いて見ると、小型のやぎは消化器系統があまり強くないようです。もうやぎを飼うのをやめようかと考えることもあります。そんな弱気にもなってはいただけません。

やぎの死で得た結果

▲ 食事の管理（かんり）をきちんとする。特に野菜の量と時間をきちんと決める。野菜の水分が必要以上に多いと、第一胃に入り寒さのために障害（しょうがい）を起こす。では水はというと、直接第二の胃に入るのでよい。食事の量が少なくても餓死することはないとのこと。

▲ 中毒に弱い。キョウチクトウ、ユズリハ、ニセアカシアなど校内にも気をつけなくてはいけないものが沢山ある。

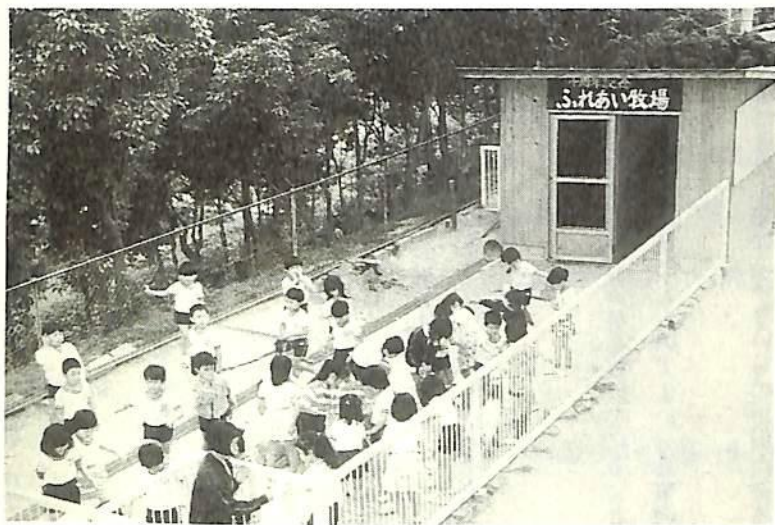
▲ ヤクシマヤギのように小型のやぎの場合は、割合もろくて死ぬことがある。

●十二月十五日(日) みんなでフェンスのペンキぬり

「主人公」のいない牧場の小屋だけど、いつやぎが来てもいいように準備だけはしていかなくては。朝九時、第一回目のペンキぬり開始です。記念施設部の鈴木・高柳両総代さん、教頭先生、竹内先生、それからフェンスを作って下さった後藤さんも来て、白ペンキをぬりました。飼育係の子もはりきってぬってくれました。五年生の清水、小島、植村さん、四年生の宇野君たちです。十二時ごろまでがんばってくれました。牧場の回りがとてもすっきりしたように感じます。

●二月二日(日) けがをさせてすみません

今日は学芸会です。ずっと体育館にいて、気がつきませんでした。二才くらいの小さい子が、チャボにつつかれてけがをしてしまったそうです。チャボも時にはくちばしで人をつくることがあるので気をつけましょう。特に顔や目に気をつけて下さい。



にぎやかなふれあい牧場

●三月三日(火) 太郎と花子

「先生、新しいヤギはいつ来るんですか」

これは最近の子供たちの口ぐせです。

「暖かくなったらね。」

これが答です。そんなやりとりも、今日が最後になりそうです。午後四時、PTAの会長さんとやぎを連れに行きました。まるまると太ったオスとメスそれぞれ一頭ずつです。学校に着くと、近くに四年生の子たちがいて大変な喜びようでした。二月にごん太が死んでから、『ふれあい牧場』の主がしばらくいなかったので、とてもさびしい思いをした子たちがたくさんいました。学区の方が牧場に寄っても、とても残念がっていたそうです。

この二頭は、もうずいぶん大きくなっているので、とても力が強く、とびはねます。夜七時半、風が強くて寒いので、小屋の様子を見ながら観察してみると、さすがに野生の動物です。じつとこちらの様子をうかがっています。用心深いのでしょうか。ヤクシマヤギはオスもメスも角が生えます。今度のヤギは茶色っぽいほうがメス、白っぽいほうがオスです。慣れてくるまでは、小屋の中で過ごさせます。来週にはみんなで歓迎会をやりませう。

●三月七日(土) 大きなやぎが来たよ

昼過ぎにPTA会長さんのおかげで、やぎが来ました。今までよりもっと大きなやぎです。これで四匹になり、『ふれあい牧場』が急に生き返ったようです。このやぎは、トカラやぎといわれています。トカラ列島という島々が九州の南に続いていて、そこに住んでいたヤギというわけです。屋久島ヤギとはしんせきみたいですね。

九日の月曜日に「ふれあい牧場開き」をするので、小屋の中や回りを整頓しました。ヤギたちは、人間が何もしなければゆうゆうとしています。しかし、急に手を動かしたり、おおきな音をたてると、さっと逃げていきます。危険を感じる能力はさすがですね。

●三月九日(月) 『ふれあい牧場開き』

晴れのちくもりのち雨。さいわい「牧場開き」のころはちよつと雨が降っていた程度でした。

会はちよつと一時半に始まりました。三年生はとても行儀よくできました。やぎは二匹とも外へ出て、いったい何が始まるのだろうかとそわそわしています。参加して下さった方や牧場開きの会の様子は、『うじだより3月号』にくわしく書いてあります。

●三月十六日(月) やぎ当番

こんな時どうする

一、えさの準備は？

五年生の清水由香、三宅明日美、佐々木大蔵君たちが、入れ物に入れておきます。一日分が一つの缶です。

まず午前中に半分ずつ大きいヤギと、小さいヤギに分けてやります。いっしょにやると、大きいヤギが、小さいヤギをお

すので、最初に小さいヤギにやって、それから大きいヤギにやりましょう。

二、日曜日や休みの日の当番はいつ来ればよいか？

朝一回と昼から一回来ます。

三、四時ごろになっても、小屋のとびらがあいていたら、どうしますか？

小屋の中にやぎを入れて、かぎをかってください。

四、牧場の外にヤギが出ていたらどうしますか？

あわてないで、まず落ち着いて。えさを持って中へさそいこみます。急に追いかけたらせつたいに逃げます。

●四月六日(月) 平成4年度の始まり

今日は入学式。新しい一年生が一七八名も入学しました。今までで一番多い数です。この頃、天気はあまり良くなかったけれど、今日はやわらかな春の日です。『ふれあい牧場』では、四匹のヤギが元気に鳴いています。まだまだ人に慣れたとは言えませんが、外から手を入れると近づいてきます。当番のみんなのおかげで、心配していた春休みも無事にすぎました。ヤギたちのえさの牧草は、美合町の中嶋勇さん(中嶋牧場)にお願いしています。ありがとうございます。

●四月十五日(水) オスは高さ五八センチ、長さ八十センチです

二時間目が終わって、掃除の時間です。牧場でかんたんな掃除をしていると、当番の佐々木君が来ました。

「ヤギさんの身体測定をやるうか」



さっそく、一メートルものさしを持ってきました。まずトカラヤギの一番大きいやつです。背の高さ五十八センチ、長さは八十センチ、次に角の長いメスです。このメスはそのさしを近づけると、すぐに逃げてしまいます。なかなか測らせてくれません。えさをやりながら測りました。背の高さ五十三センチ、長さは七十五センチでした。さて重さはどうやって測るのでしよう。当番希望が集まりました。やぎ四十五人、チャボ二十二人、こい十六人で当番をやることになりました。

●五月三日 (日) 連休のまつさいちゅう、やぎに田共亦・・・

学校が休みだけれど、飼育の当番はちゃんと仕事をやってくれます。きのうはお父さんもいっしょに来てくれました。そして、今日の日曜日も、小屋のまわりがほろけきれいな状態にありました。ヤギもチャボも幸せですね。ちょうどヤギのえさがなくなってしまったので、えさを分けてもらいに行きました。一度にだいたい二週間分です。ちょうどお昼の十二時ごろです。えさを一日分ずつ、かんにわけていました。そのときです。ギャアウという悲鳴のような声が聞こえました。今までに聞いたことのない声です。小屋の中をのぞくとべつにひどいけんかをしているようでもありません。でも、さっきの声はたしかにトカラヤギの声です。入り口に近づいてよく見るとメスのヤギの角が根もとからおれてぶらぶらしています。その異様にメスヤギは興奮しています。おれたところからは血が出ています。角の付け根は肉のようなものが見え、とても痛そうです。見ている自分が貧血で倒れそうです。このままで自然に治るのでしょうか。出血もあるし、どうしたらいいのでしょうか。

今度は自分がうろたえる番です。角をしっかりと切って、消毒することになりました。保健室から消毒薬のビヒテンと綿を持って、ふれあい牧場へ急行。ところが、やぎはなかなかおとなしくしません。ことばをかけると、「心配してくれてるのかな」と思っているのか、おちついてはいるのですが、角に手をかけようとすると急に動いてしまいます。つなでしばらくするので、かえって興奮して困ります。同じようなことをして、何とか動かないようにしたいと考えても、時間はどんどん過ぎて

いきます。一時間半、角を切るのは、ついにあきらめました。消毒薬だけは、上からかけるようにして、つけてやりましたが、なかなかうまくいきません。

南病院の鈴木院長先生に連絡をして、明日の午後いっしょに治療することにしました。

●五月四日 (月) 今日日も五月晴れ

午後一時、鈴木院長先生、小田先生と三人で牧場に行きました。五年二組の鈴木みきさんも、心配顔で見えています。ヤギが大きいので動かないようにするのが大変です。まるでヤギをいじめているようです。ロープを二本使って外のさくにむすび、さらに口も固定して、治療開始です。鈴木先生が取れかかっている右の角を取りました。角を切り取ったしゅんかん、赤い血がぼたぼたと落ちました。素早く消毒をしてちゅうしゃを二本打ちました。

治療が終わると、ヤギはもう平気な顔です。さっそくえさを食べにきました。よかった。よかった。あとで角の長さを測ってみると約十五センチありました。



角が折れたメスのヤギ、ナナ

●五月十六日(土) ヤギさんの角の様子には?

ゴールデンウィークにメスのヤギの角が一本折れてしまいました。きちんと処置したので、今は前と同じくらい元気です。頭の右側におれたあとが残っていてちよつとかが悪いですが・・・。

三年生と五年生の教室で話しましたが、奈良公園などにいるシカは春になると自然に角が取れてしまいます。しかし、ヤギの角は取れずにだんだん大きくなっていきます。同じような動物でもずいぶん違います。

三時間目に、一年四組さんと『ふれあい牧場』に行きました。大きなヤギにちよつとこわがっている子もいましたが、ヤギの背中にそつとさわったり、

「ヤギにのれるかなあ」

と言っている子もいました。じつはヤギもいつもと様子がちがうなあ、と思って、びくびくしているんです。やさしくことばをかけてあげましょう。

●五月二十二日(金) チャボのヒナ

今週はとても天気がよく、気持ちのよい日が続いています。あさつての日曜日は学区の体育祭です。運動場ではとても元気な声が聞こえています。一年生は初めての運動会ですが、はだして元気いっぱいがんばっています。放課になると真つ先に、『ふれあい牧場』へ遊びに来る子がたくさんいます。この頃きまって来ているのは、六年の佐々木君、美坂君三年生の近藤さん、本多君たちです。その佐々木君が次のような作文を持ってきました。

死んでしまったチャボのヒナ

五月の二十日にチャボのひなが生まれました。しかし二十一日に死んでしまいました。そのわけは卵からかえる時に人が手伝い、生まれてきたひなを水で洗ってしまったことです。生まれてすぐの時ひなには血がついているので、洗ってあげようという気持ちは分かります。しかし、それはいけないことでした。なぜなら、生まれたばかりのひなを水でぬらすと、体が冷えて弱くなったり病気になるてしまうからです。そして、生まれたばかりのひなを人がだいたりすると、チャボのお母さん(この時はカラス)がそのひなを自分の子じゃあないと考えてしまいます。あたためたりえさをやったりしなくなりします。

かわいそうなので、ぼくはそのひなを持って帰りましたが、もう死にかけてでした。そしてできるかぎりあたためたり、えさを与えましたが、それ以上どうしようもなく、ついに死んでしまいました。その時、ぼくは初めて人間の無力さというものを感じました。苦しんでいるひなを助けることもできず、そのまま死なせてしまったからです。

ぼくはそのあとひなのお墓を作りました。土を深くほり、下に葉っぱをしき、上には花をかけてあげました。そのお墓の上に植物を植えました。名前はわかりませんが、その植物をぼくは大切にしていきたいと思います。今後、たまごがわかれて生まれてもそのままにしておいて、元気でかわいいひなが見られるようにしましょう。

六年一組 佐々木 大蔵

●五月二十二日(金) コーちゃん、さようなら

春休みに、額田郡の千方町小学校へ三羽のチャボが転校して行きました。今度はあの堂々とした名古屋コーチンが、今日転校して行きました。のっしのっしとした歩き方でみんなに親しまれていました。背中(せなか)に手を当てると、おすわりをしましたよね。ほかのチャボさんとはなかなか友達になれず、夜はちがうところで寝ていました。体重をはかってみると、なんと十キロもありました。時々おこって、小さい子をくちばしでつついてしまったこともありました。そんな思い出をみんなにたくさん残してくれました。

●五月二十七日(水) ふれあい牧場にお客さん

生平小学校の先生が『ふれあい牧場』を訪ねてみました。

「生平小学校でもやぎを飼ってみたいのですが・・・」

特に今年からは、一、二年生の学習で生活科という勉強が始まりました。その中に植物を育てたり、動物を飼ったりしながらいろいろ勉強するわけです。今まで、上地小学校で経験したことをお話ししました。

よかった
こと

- 動物好きな子供が増えます。授業が終わるとすぐに牧場へとんでくる子供がいます。
- 動物に優しく接することが出来ます。動物は世話をしてくれる子たちをよく見えています。
- 当番は、三年生以上の希望者でやっていますが、とても喜んでやります。
- 動物のことが学習できます。体のこと、特長、くせなど。
- 学級に溶け込めない子が心をいやすのに役立ちます。今でも多くの子はヤギやチャボで救われています

よくなか
ったこと

- * 体調をくずしたり病気になると困ります。小鳥やうさぎよりも人間に近い感じがするからです。
- * 一年生ではヤギの方が力が強くて、なかなか世話ができません。
- * 係の先生は、休みの日などがたいへんです。特に夏・冬など長い休みが困ります。
- * 小屋だけでなくかなりの広場がいります。
- * 食べ物には注意がいります。休日に来た子たちが毒気のある植物を与えて、やぎが死にました。
- * 小さくてかわいい時だけ育てて、大きくなって手放すのでは動物がかわいそうです。白いふつうのやぎは、成長するとかなりの体重になります。本校の場合オスは九十キロ、メスは七十キロにもなり、子供や女の先生では言うことを聞かない時期がありました。男の先生でもかんとんには連れ出せません。また、こういう時期になると、頭でぶつかってくるので子供は危険です。
- * おしっこをなめたりすることはもちろん、とくに発情期になると、オスは強においを出します。係の子が家に帰って親に知られてしまったことがあります。担当の先生が職員室に戻ってくると、おしただけですぐにわかってしまいます。

●六月四日(木) ヤギさんの夕名前はおすがトト、めすがナナ

今度の名前つけは、飼育係の子にやってもらいました。トカラヤギのおすは、トト。めすはナナです。とてもかわいい名前になりました。いつまでもみんなにやさしくしてもらえそうです。もう二頭のヤクシマヤギは太郎と花子です。

●五月二十九日(金) ちよつと気になるやぎさんの毛

最近毎日、近くの子供がお母さんをつれて『ふれあい牧場』にやってきて、やぎやチャボとお話をしていきます。近くで見ているだけでもほほえましく感じます。

このごろ、トカラヤギ(トトさんとナナさん)の体の毛がちょっと薄くなってきたようですが、だいじょうぶでしょうか。特におなかのあたりが気になります。たいした病気でなければいいのですが・・・

今までヤクシマヤギはそんなことなかったのに、ナナに続いてトトも毛がぬけてきて心配になってきました。やっぱり今ごろが毛の抜けてかわるころなのでしょう。岡崎の東公園に行ってみると、やっぱり毛がうすいようです。

●七月十五日(水) ありがとうございます。ヤギは順調です。

そろそろ梅雨明けになりそうです。学校の玄関先には夏の花のムクゲがたくさん花をつけています。体育館横のナンキンハゼもきれいですよ。午後四時過ぎに、南動物病院の院長先生がみえました。

「ヤギの調子はどうですか」

「毛がぬけて、はげてますが、元氣です」

「今日は、フィラリア予防の注射をしに来ましたよ」

五月四日の『ナナさんの角事件』以来の診察です。あの時は、ヤギが暴れてたいへんでした。ちよつと心配なので深津先生にもお願いしました。薬の量はヤギの体重に関係があります。保健室の体重計を借りて測りました。

その結果

| | |
|------|--------------|
| トト | ・・・十三・五キログラム |
| ナナ | ・・・十四・〇キログラム |
| 太郎 | ・・・八・〇キログラム |
| 花子 | ・・・八・〇キログラム |
| 深津先生 | ・・・ ?キログラム |

でした。深津先生がじょうずにだいてくれたので、予想に反してヤギたちはあまり暴れません。うまく注射ができました。深津先生をお父さんだと思ったのでしょうか。

●九月八日(火) ピピさんどうしたの

まだまだ暑い九月ですが、夕方ふれあい牧場にいるところからともなく、すずしい風がふいてきます。やぎやチャボたちも気持ちよさそうです。夕方になってもピピさんが見当たりません。三年生の子が中心になってさがしたら、板の下じきになっていたそうです。見ると頭の横から血が出ています。流れ出た血が左の目に入って目が開きません。岩瀬さんをお願いして、動物病院で見てもらいました。けがはたいしたことがなく、目も見えるようです。よかった。動物病院の先生は、

「にわとりをしんさつするのはめずらしい。」
とって笑っていました。

●九月十日(木) 当番さん一二期もよろしく

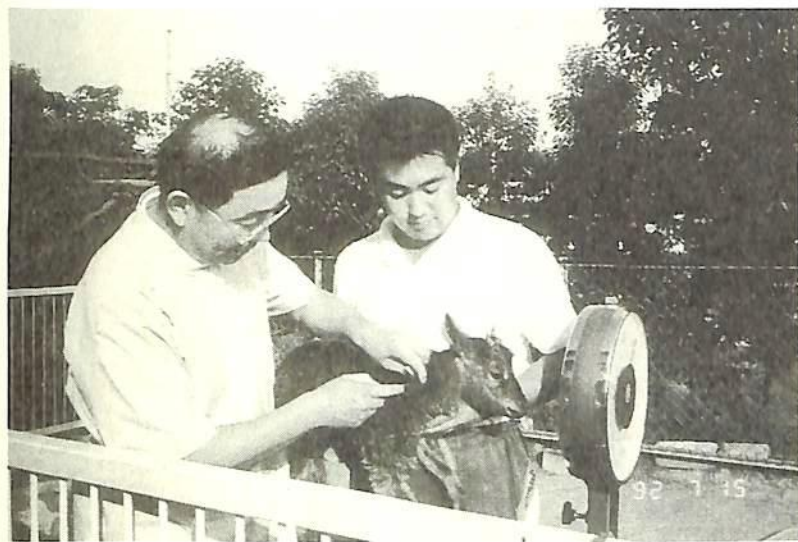
昨日と今日、二学期の当番を募集しました。やぎ二十二人、チャボ八人、なかよし池六人、インコ三人です。

今、四頭のヤギはとても調子よく育っています。学校のみならず、一緒ですね。

オスのトカラヤギ(トト)は、皮膚病が大分よくなってきて立派になってきました。えさを食べる時は頭でついていじわるをするけれど、そのほかの時にはとても落ち着いています。メスのナナは近寄るとまだ逃げていきます。でも静かにしていると、そっと近づいてきて、こちらの様子をうかがっています。えさの時にはナナが一番いばっています。

ほかにはチャローをはじめ、にわとりが四羽、チャボが十羽います。卵も温めています。夜になると自分で寝るところをさがして寝ます。不思議なことに、いつも寝る場所の順序が決まっています。首を羽につっこんで寝ていますよ。

なかよし池には、九十センチのコイをはじめ、フナ、金魚、タモロコなど百匹以上の魚が泳いでいます。人面魚もいます。



南動物病院の鈴木院長先生がヤギの診察

八月二十二日に。学区の総代さんたちが、十周年を記念して、十びきのコイをなかよし池に、はなしてくれました。その中の二匹は白と黒でちょっと変わっています。ソ連(ロシア)で生まれたコイだそうです。どのコイかわかるかな。よく見るときつとわかります。

三年二組のすぐ前には小鳥小屋があります。インコが三羽います。二羽はゴールデンチェリー、あと一羽はふつうのセキセイインコです。時々、すすめがかってに入ってきて、遊んでいきますよ。

●九月十七日(水) ううん、ヤギのうんちがおかしいぞ

牧場の小屋の回りに、べとつとしたうんちが、いっぱいありました。ヤギのおなかの調子が悪い証拠です。だいぶふくれています。このバターンは今までの経験から決まっています。ヤギがちゃぼのえさ(こくもつ)を食べたにちがいありません。夕方子供達がいなくなつてから、消化薬(はらぐすり)を水に溶かして飲ましてやりました。一日たてばだいたい良くなるでしょう。でも安心はできません。やぎとか牛のような、はんすう動物が死ぬ原因の一番多いのは、腹にガスがたまってしまふことです。体の調子が悪いとやぎは小さくて体力がないので、簡単に死んでしまうことがあります。

●九月二十日(日) 黒つばいヒナ誕生

八月のいつごろからか、チャボのメスがずっと卵を温めていました。今日、小屋の中で何か聞こえたので、からす(黒色のメスちゃぼ)にこわつて、そっと羽根を持ち上げてみました。いるいる。かわいいやつが。少し元気になったところで、やぎにふまれないように、佐々木さんの家に行く予定です。じゃんじゃん生まれたらほかの子にも家でかっほしいものです。

●九月二十七日(日) ちよつとまっつて、チャボ係さん

チャボの卵が少し動いています。右の箱にあった卵八個が、左の箱に入れてあります。そして、その卵はどのチャボも温めていません。その日の係の子は知らずにやってしまったのでしよう。チャボは卵を移動するともう温めません。自分の子供ではないと思うからです。卵に人間のおいがついてしまってもやはりなかなかうまくいきません。八個の卵は残念ながら全部だめになってしまいました。これからは気をつけてやっていきましょう。失敗をしてはまたいろいろなことを発見するものです。それから、じつは九月二十二日にも白いチャボが生まれましたが、ほかのチャボの下じきになってしまっ、自分の足で立てなくなってしまう、二日後に死んでしまいました。

●九月二十九日(火) 大事件の発生

二年一組の山本さんたちが給食中の私を呼びに来ました。

「先生、ヤギの元気がありません」

一時少し前、出張先から帰って、いつもより遅い給食を取りながら、

「これ食べたら見に行くね」

牧場に着くと、びっくり。トカラヤギのトト(おす)が牧場の小屋から三メートルくらいの所で倒れて横になっています。自分では全然起き上がれません。これは大変です。頭のあたりが何となく冷たいような気がしました。竹内先生も心配していっしょに来てくれました。あわててダンボール箱を用意して、中に入れました。一代目の太郎の時のように少しでも暖かくなるようにタオルを二枚、体にまいてやりました。

その時、もう一方のメスのナナはどうだったでしょう。小屋の中で、寒そうにかべに体をつけて風をよけていました。元気はあまりありませんが、自分で頭を上を持ち上げています。これならそんなに心配ではなさそうです。まず病院に連絡を取って待ちました。そうして時間は過ぎていきました。四時半ごろです。トトにはかり気を取られていたが、ねんのために牧場をのぞくと、ナナが完全にダウンです。

ほとんど息をしません。いてもたってもいられず、動物病院に運びこみました。やぎの注射を上手に手伝ってくれた深津先生と二人で、雨の中を出かけました。体温を測ると三十五度でした。ふつうやぎは三十九度くらいです。院長先生の見込みも、あまりよくありませんでしたが、

「最後まであきらめないで」

と、やぎに点滴をしてくれました。病院の看護婦さんも心配そうです。点滴を始めると、今まであまり反応しなかったトトの目が、光に反応するようになりました。ひよっとしたらと思いはじめました。そのまま入院をすすめられたので、その後は病院の先生にお任せして、学校にもどりました。

家に帰っても、なかなか眠れません。なぜ急に二頭のやぎがこんな状態になってしまったのでしょうか。やはりいけないものを食べてしまったせいでしょうか。最近調子が良かったので、当番の私たちにも、ちよつと気のゆるみがあったかもしれませ



三年一組のチャボ係さん

ん。残りの二頭の屋久島ヤギは、うんと気をつけようと思っ
ています。夜になり、風と雨が一段と強くなり、あまりの急な寒
さだったので風よけの板を張りました。

●九月三十日(木)

トトもナナも

死んでしまった

残念・・・入院先で明け方近く三時すぎ、ついにト
トが死んでしまいました。トトもナナもとてもやさしい顔です。
箱の中にキクの花とハゲイトウを入れてやりました。

午後、松原教頭先生と二人でやすらぎ公園に行き、やぎさん
を天国へ送ってもらいました。やすらぎ公園というのは、おじ
いちゃんやおばあちゃんなど、お家の人が死んだ時に、焼いて
もらうところです。お墓もたくさんあるところです。

きのうの様子を少し振り返ってみると三時間目ごろにトトと
ナナは牧場の外に出ていたそうです。外に出るとまず行くところ
は、今までの観察の結果、二か所です。一つはちゃぼのえさ
のところ。もう一つは、豆科の植物、ニセアカシヤの生えてい
るところです。



元気なころのナナ

チャボのえさを食べると、おなががガスでいっぱいになって、死ぬことがよくあります。

キョウチクトウやニセアカシヤには毒があります。その毒が回ると、やはり死にます。今回はニセアカシヤの毒の可能性が
強いと思われます。

牧場に近づくと鉄のさくを前足でたたいて、こっちへ来て、こっちへ来てと音を出します。えさをやろうとすると、一番に
飛んできて、おねだりをしたトト。当番をしてくれた子はいつも苦労しましたね。だって、前足から持たれかけてくるんだも
の。五月のゴールデンウィークの真っ最中に左の角を引っかけて折ってしまい、動物病院の先生にずいぶんお世話になったナ
ナ。それぞれの思い出を上地小学校のみんなに残してくれました。

●十月十三日(火) 牧場はにわとりがいっぱい

きのうにつづいて、今日も朝から雨。牧場で一羽のにわとりが死にました。もと五年一組で大事に育てていたオスでした。
二年一組の子が、みんなで死んだ後の世話をしてくれました。ありがとう。

このごろ、牧場へ行くと白いにわとりがずいぶんいっぱいいます。お祭りなどで買ってきたひよこが大きくなって、自分の
家ではかえなくなってしまうようです。しかし、学校でもどんどん増えては困ります。特別な事情(学校からお願ひしてか
つてもらっている子など)でないかぎり、学校へは持ちこまないで下さい。

●十一月十五日(日) いやな事件

雨天。子供を学校のふれあい牧場によんで、変なことをしようとする男が現れました。けいさつにも連絡をし、現場も見
てもらいました。休日に子供だけで当番に來ると心配なので、残念だけれども休日は、子供だけの当番を中止にしました。

●十一月二十六日(木) 四羽のちやぼが美川中学へ

中嶋ゆかり先生って、おぼえていますか。今の五年生の子は
ずいぶんお世話になっていますよね。

「中学校でもチャボの絵をかくので、かしていただけますか。」
ということで、チャボを四羽かしてあげました。

いよいよ美術(小学校では図工)の授業です。チャボを教室
で自由にさせると、生徒たちはこわがって、後ろに下がってし
まったそうです。しかし、チャボは慣れているので、テレビ台
や机の上で、モデルとなってポーズをとっています。

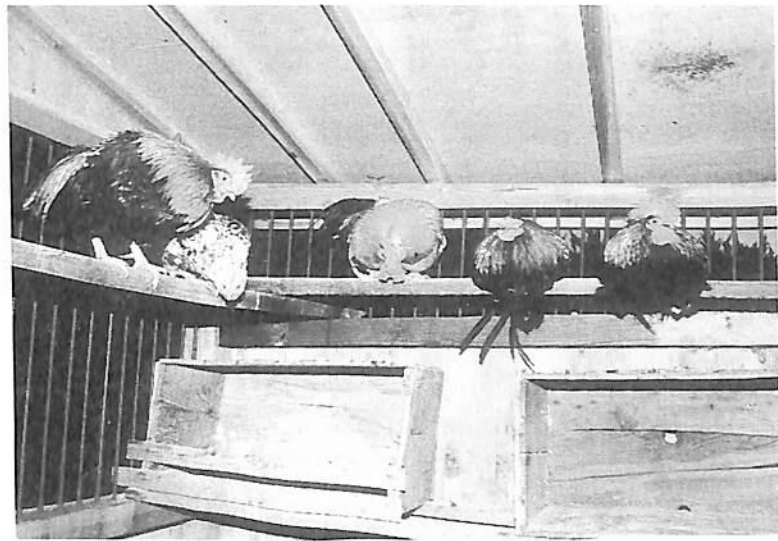
チャボにだんだん慣れてくると、少しずつ親しみがわいてき
ます。授業の最後になるとすっかり仲良しになって、初めはチ
ャボをこわがっていた子も、チャボをだけるようになったそう
です。それどころか、かいた絵に色ぬりが終わると、チャボに
見せに来たそうです。

その時、チャボはいったい何と言ったのでしょうか。

美川中学校の教室から上地へもどってくるときには、

「みんなでさよならをしてくれたよ」

とチャボたちが言っています。本当に幸せなチャボたちですね。



夜のチャボ小屋の中

●十二月二十四日(木) 小鳥の小屋が静かだ

今年からは、天皇誕生日のことを考えて二十二日が二学期の終業式でした。ちょっと冬休みが長くなって得をしたなと思っ
たら、三学期は一月七日になりました。冬休みになると、ふれあい牧場に来る子供たちはぐっと少なくなり、チャボややぎた
ちは何かとてもものんびりしています。特にチャボやニワトリのしっぽはずいぶん立派になってきます。朝の九時ごろ、チョー
ローはどこにいるのだろう、とさがしながら小鳥小屋に近づいてみました。やけに静かです。中に入ってみても、今までいた
二羽のインコが巣箱から飛び出てきません。この二、三日中にいなくなってしまうました。どこかで寒さに負けて死んでしま
わなければいいのですが。せっかく約四年間大事に育ててきたのに。今年は六年生の都築芳江さん、植村英子さん、居福涼子
さんがいっしょうけんめいに係活動をやってくれました。

●十二月三十一日(木) 平成四年は今日日まで

今年、学校ができてから十年目をむかえ、いろいろな行事がありました。『ふれあい牧場』も新しく牧場開きをして、ヤギ
が一度に四頭になり、牧場が急ににぎやかになりました。トカラヤギの名前はトトとナナ、ヤクシマヤギは太郎と花子と決ま
りました。

チャボはよく生まれたけれど、ヤギの下になって死んだり、自分で遠くに行ってしまったりして、思ったほどうまく育ちま
せんでした。学校に持ち込まれたニワトリも、ずいぶんいました。「チャボをぜひお願いします」とたのまれて、額田郡の山
奥の学校にも行きました。順調に育っていたヤギたちでしたが、運動会の練習でいそがしい九月二十九日に急に体の調子をく

るわせ、その日のうちに死んでしまいました。今日は大晦日。学校の玄関の回りをちよつときれいにして、新年を迎えます。一段落したので牧場もはいてすつきりさせました。掃除しているときの太郎と花子は時々近くに寄ってきたり、知らん顔してひなたぼっこをしています。

●一月七日(木) 平成五年は鳥年(とりどし)

「コケッココ、今年はおれたちの年だぞう」なんとなく、そんなふうに聞こえませんか。鳥年は干支の中でも、大変良い年だと言われています。猿は去るといって、良いことが行ってしまう。鳥は取るといって、縁起を手もとに引き寄せるといわれます。いつもの年より一日早く三学期の始業式が行われました。校長先生は、チョーローを研究して三つのことを話しました。

1. チョーローの鳴き声はすばらしい。上地の校訓『力いっぱい』を示している。
 2. チョーローは職員室にやって来て先生や友達となかよし。
 3. チョーローの姿勢は、胸をぐつと張って、ても立派である。
- 良いことは、どんどん参考にして、取り入れたいものです。



職員室でも人気のチョーロー

●一月二十二日(金) メスのにわとり知りませんか？

チョーローは二学期の途中から、三年一組がお気に入り。子供が好きなのはもちろんですが、遠山先生がまた特別にビスケットを買ってきたり、優しくしてくれているようです。今までは校長先生の部屋のすぐ外か保健室のところにいたけれど、ほとんど三年一組の近くにいます。

ところで、今まで卵を生んでいたメスのにわとりが、このごろ行方不明です。犬やねこにおそわれたならば、死体があるはずなのに、そんな様子はありません。えさをもらえる学校の外へわざわざ逃げていってしまうことも考えられません。だれかあずかっていたら、教えて下さい。もうひとつの小屋に、黒いチャボがいます。このチャボは、『ふれあい牧場』で秋に生まれたチャボですが、その頃、生まれたチャボがすぐにやぎにふまれたりして死んでしまったので、六年生と三年生の佐々木さんの家で育ててもらっていたものです。肩の上に乗ってかわいいそうです。

冬場のやぎは、小型の動物なので寒さに注意です。去年は上地農園で育てた大根の葉など、水分の多い野菜をたくさん与えたために、腹のぐあいが悪くなって、失敗しています。特に最近の冷え込みに気をつけています。

●二月三日(水) かわいいひなが五匹も

三学期が始まったところから、チャボのエリカがじっと卵を温めていました。時々ぞいて手を出すと怒ってつつきます。卵を大事にしているんですね。

今日の朝には、かわいいひなが五匹も、エリカの羽根の下から顔を出しました。とってもかわいいですよ。箱の下に落ちて

しまうと困るので、あみをかけました。
あと五、六個の卵があります。係の六年生の植村さんは、卵がもうじき生まれてくるころになると、外から見て、からが赤っぽくなってくることを観察して知っています。

●二月十二日(金)

かわいそうな矢ガモ
幸せなチヨロー

十日ほど前から新聞やテレビで有名になった矢ガモ。とんでもない人がいるのです。それにひきかえ、学校のチャボやヤギたちは幸せです。(今日、矢ガモは保護されたそうです)外はなかなか冷たい北風が吹いています。ここ三年一組の教室のチヨローはテレビの横で、子

岡崎ホームニュース

ボクは「人間大好き」さ

上地小のアイドル「チヨロー」

「登校」し「授業」も

住みつき 堂々と校内を闊歩

背中を矢で射られ、
連日の衆人監視のなか
で、深く人間不信に陥
った矢ガモ。その矢ガ
モと打って変わって
「人間大好き」学校の
スーパースターと
自他ともに認める、
オンドリが上地小学校
(深津武司校長)にい
ます。毎朝子どもたち
と一緒に、登校。して
教室で、勉強。誰が名
付けたか、その名も「チ
ヨロー」。

三年一組のクラスメイトと
一緒に、授業を受ける「チ
ヨロー」上地小で



供たちのほうへおしりを向けて、一本足で立っていました。頭を首の中につっこんで、安心しきって眠っています。何も知らない人は今年の干支(えと)である鳥の置物がかざってあるのかなど思ってしまうでしょう。そんなチヨローのようすがほほえましいといって、中日ホームニュース新聞の神谷編集長が学校にみえました。さっそく三年一組に案内しました。教室では、みんなが真剣に「ダム」を練習しています。あれっ、チヨローがどこにもいません。心配しましたが、なんと今度は、テレビのかけに体半分かくしてぐっすり昼寝をしていました。そんな様子を見ると、チヨローは三年一組の子たちが大好きで、三年一組の子たちはチヨローを信頼して、ふれあっています。

けれども、今のような状態になったのは半年以上の時間がかかっています。遠山先生が特に動物好きで、学級の子供たちも好きになっていったようです。『動物が好きになるということは、動物の気持ちが分かる』ということ。ウンチをしたからって、きたないって言うてはだめです。机のうえにあるウンチを、だれに言われなくてもすぐにティッシュでふきとることが、できるようになっています。近くで見るとチヨローって、すごい迫力ですよ。するどい目をしています。足の後ろにのびているけづめも六センチほどになり、ガツとけられたら大げがをしそうです。中でも、一番世話を良くしているという、大林君に神谷編集長がインタビュしました。彩乃さんは寝ているチヨローを起こして、だいて写真をとってもらいました。チヨローも彩乃さんもすてきな表情でした。

大林君は、日曜日にお父さんたちと名古屋港水族館へ行きました。

「チヨローにもおみやげを買って行くんだ」

と言って、チヨローの大好きなクッキーを買ってきました。チヨローがうれしくて、コケッココといつもより大きな声で鳴いたそうです。大林君だけでなく、ほかのみんなもチヨローの分のおみやげを買ってきます。チヨローはすっかり三年一組の一人です。

●二月十四日(日)

保健委員会△△制作ビデオ

「チヨローの一日」を見て

チヨローの目から見た私たちの生活はどんなものだろうか？

坂爪先生が中心になって、特に安全面に気をつけながら学校の一日を撮影しました。特に工夫したことは、ビデオカメラの高さを、実際にチヨローが歩いてみる目の高さに合わせて撮影したことです。なかなかうまくできています。学校のみなは、土曜日の集会で見たようです。大事なことがあるので、チヨローの言葉を紹介してみます。

☆ これが『あいさつ運動』ってやつか。

☆ おいおい、つりはしはわたるものだぞ。小さい子がまねをするぞ

☆ (少し腹ごしらえをして、授業に行くか) ここは三年三組、先生がいないのに、しっかりやっているなあ。

☆ 三年二組は何をやっているかな。むずかしそうな勉強だな。

☆ (五年生のルアーのバルサけずりを見て) おおなんかおもしろそうなのをやっているな。何を作っているのだろう。

☆ (給食の準備を見て) ちゃんとならんで行けよ。今日のおかずは何かな。おっ、おれのすきな、キャベツを食べてる。

☆ なんだこのトイレは。スリッパをはかないおれのほうがまだましだな。

☆ あぶないじゃないか。ろうかを走ったりして。また走った。また、また、危ないなあ。

☆ やっぱり、レインボータワーは低学年の好きなゆうぐだ。しかし、おにごっこは危ないぞ。

☆ みんなしっかりそうじをしているかな。一年生はどうか。おいおい、ほうきはごみをはくもんだぞ。

☆ (五時間目が始まって、運動場では深津先生のクラスが体育をやっている) けがをしないようにじゅんぴ運動をしっか

りやれよ。

☆ (下校の時間になり、校門のすぐ外へ出て) みんな楽しそうだけれど、道路は車も通るんだぞ。

☆ 陸上がんばれよ。何か変なことやってるなあ。そうか、これがストレッチというんだ。おいらも時々一本足になるんだぜ。

☆ レインボータワーは、みんなのものだけじゃないんだ。おいらだって、コケッココ、おれもねるかな。おやすみ、またあした。

こうして見てみると、私たちの回りには「あつ、あぶないな」と感じるものがいっぱいあります。

● 二月十九日(金) 太郎とチヨローがそろって調子が悪い

最近話題のチヨローですが、今日はちょっときげんが悪いようです。教室の中に入れてやろうとした一組の子につき返したり、机の上に飛び上がろうとしても、途中までしか届きません。

よく見ていると歩く様子も、不安定です。右足が何となく悪いようです。羽ばたく様子を見ても、右と左で羽根の上がり方がちがいます。

太郎は、食欲はあるのですが、歩き方が変です。後ろ足が両方とも自然ではありません。足首がかくくんとなくなってしまいます。当然姿勢も悪くて、むかしのやぎの左足の手術を思い出しました。あまりひどくなる前に、お医者さんに見せたほうが良いと判断して、南動物病院に連れていくことにしました。

遠山先生も一緒に行つて下さることに、お願いしました。

チヨローは、段ボール箱に入れられ、ちょっととまどっていました。おちついたものです。

牧場の太郎を連れに行きました。太郎と花子の鳴き声がいともよりにこって聞こえました。何かをうったえているようにも思えました。いやがる太郎をだきかかえました。暴れたけれども、しかたがありません。遠山先生にかわっていただいていた。そのまま、学校の軽自動車で、南動物病院に連れて行きました。

太郎にとつて、もちろん初めてのことです。びくびくしていてふるえています。診察台の上に乗せようとしても、足をたたくんで、いやがります。

太郎の体重を測ることから診察が始まりました。ちょうど十キロです。角の長さも十センチほどありました。

「歩き方がおかしいんです」

と報告すると、院長先生はじつとみつめて、足をさわって曲げたり、ひづめを見たり、ていねいに見て下さいました。太郎が暴れないように、そっとだいてやりました。そのとなりでは心配そうな顔つきで、遠山先生が太郎をはげましています。そのうちに、つめの伸び方がおかしいことがわかりました。岩場などにいるやぎなので、ふつうは自然に、自分でつめをけずるのでしようが、学校の牧場ではそううまくはいきません。つめを少しけずってやりたいのですが、その道具がないので、今日はできません。ビタミン注射をして、診察は終わりました。診察が終わってからも、太郎は緊張してふるえながら、待っています。

次はチョーローの番です。ううん、どうも余りよくないようです。ぶつかったり、けがをしたわけではなさそうです。たぶんマレック病ではないか、ということでした。この病気は神経の病気のようなです。たぶんしつかりは治らないだろうといわれて、遠山先生は泣きそうです。

「うんちはきれいな緑色ですけど」と話す。

「それはいかんよ。にわたりのうんちの緑色は血便なんです」

といわれて、ますますびくくりしました。二種類の注射を打ってもらい、飲み薬も作ってもらいました。二人とも複雑な気持ちで学校にもどり、職員室にいた先生方に報告をしました。どの先生も、みんな心配して様子を聞いてくれました。『私たちが動物をかわいがるのは・・・動物にどのように接したら良いのでしょうか』

遠山先生も私も、太郎やチョーローをみてもらって、多くの大切なことを得ました。

注射をしてもらったせいとか、一時的には太郎もチョーローも元気に見えました。夜になると、チョーローはきのう上れなかったレインボータワーに上って行きました。太郎は牧場について、そっとおろされると、逃げるようにして小屋の中へ駆け込んで行きました。病院で見てもらって良かったなあと、つくづく思いました。ありがとうございました。

● 二月二十日(土) えつー！そんなはずは・・・

朝八時十分、六年生の当番の畔柳愛香さんが今にも泣きそうな顔で

「太郎が動きません」

きのうの夕方、ちよっぴり元気になってほっとしたばかりなので、畔柳さんの言葉が信じられません。一時間目は縄跳び集会でしたが、『ふれあい牧場』に急ぎました。花子の鳴き声がひびき、落ち着きもありません。直感的におかしい、と思いましたが。小屋の中をのぞくと、太郎がうつぶせになっています。目はいつものようにぱっちり開いています。けれども、太郎にいくら呼びかけても反応がありません。体にさわってみると心臓が動いていません。いつもの体のぬくもりもありません。今まで以上のショックでした。昨日の夜の様子では、今日はずうんと元気になって、牧場を走り回っているはずでしたから。残念なこと、太郎と花子は去年の三月三日に上地小学校にやってきて、後二週間ぐらいでちょうど一年になるところでした。ほ

ほ順調に育ってきたのに。そして、できれば花子と太郎の子供がほしかったのに・・・。

原因はたぶん、私たちが動物の本来の姿を十分考えずに、接してしまったことによるのでしょう。けれども花子の立場になってみると、私たちは、いやがる太郎を、むりやり連れて行って、殺してしまったひどい人間に見えたでしょうね。

帰りのいっせいで下校で全校児童にうったえました。えさのやり方にも気をつけて下さい。チャボのえさは麦とかとうもろこしのような、畑で取れる穀物をやります。けれども、やぎには穀物をやっけてはいけません。やぎは穀物も大好きで食べますが、一度胃の中に入れた食べ物、長い時間その中にあります。そして、とうもろこしなどが発酵してガスになり、やぎは苦しくなります。おなかかぶくりとふくれているのを見たことがあるでしょう。ひどい時にはやぎは死んでしまいます。『自分はこれでいい』と思っても、動物にとっってはとても害になることがたくさんあります。

当番でない人がひよこを連れ出して、結局いなくなってしまうたひなもあり、かわいそうですよ。

五、寄稿



人気者だった太郎

上地湿原に私も行ってみた

若松東 斉藤 かをる

一月十五日の全国二斉ガン・カモ調査に、上地湿原が「上地変電所西池」として、今年から調査地として記録されている。上地八景の記事で上地湿原のことを知り、去年の六月はじめに出かけて行った時、キジの親子に出会った。

母鳥に見守られて、ころころと草のしげみにかくれた姿がかわいくて草むらをのぞき込んだら、身動きしないで固まっていた「ひな」たちは、あわてて奥の方へ飛び込んで行った。父鳥はと振り替えると、遊歩道を何かつつきながらゆっくり横断して行った。

二回目に行ったのが、今年のガン・カモ 調査。小さな池なのに、居るは、居るは、

水面に、枯れ葦の根本に、九五まで数えたコガモと一一羽のカルガモ。カワウとコサギはおまけとして、記録表に喜んで記入した。

たびたび行ってみたいところだが、何せ住んでいるところが学区の北のはずれ。自転車でいくにしても、気軽に出かけられる所ではない。

五月のはじめ、犬を連れて遠出してみた。葦原の方にはオオヨシキリの声が聞こえ、池の水はうんと減っていてカワウが浅い所で羽を広げているだけだった。嬉しかったのは、犬が水を飲みに入った小川に十匹程の魚の群れが見られたことだ。

二週間余り過ぎて、歯医者への帰り道をして上地湿原に立ち寄った。そこで嬉しい光景に出会った。柳川で二組の子供たちが田もを持って魚とりをしていた。バケツの中を見せたらうとフナ・ザリガニ・今にも卵を産みそうなメダカなどが入っていた。まだ川の中にいる子供たち声をかけると、やはりメダカが取れたという。

メダカのとれる小川。二三人で川遊びをしても安心して見ていられる底まできれいな小川。子供たちの話し声は元氣だし川へ一緒に入ってみたい心境だった。

気分も軽く池を見るとカイツブリが二羽クルルルル・・・と鳴き合い、コアジサシが空中停止をしては水面に急降下していった。

葦原の方ではオオヨシキリが鳴きさわぎ近くの住宅建設工事の音さえ気にならない程のにぎわいだった。国道の西に砂川の洪水に備えて遊水池があるが、今のように整備される前は葦の密生する所で上地湿原に負けなくらいオオヨシキリの声の響く所であった。またキジもよく姿を見せていた。

公園のテニスコートの南の湿地も埋め立てられ、学区でオオヨシキリの声が聞かれるのは上地湿原だけのようない気がする。

田が消える消えると雲雀鳴くばかり 矢田マサエ (松籟)

この句が胸にしむこの頃です。

カイツブリ

若松東 斎藤 かをる

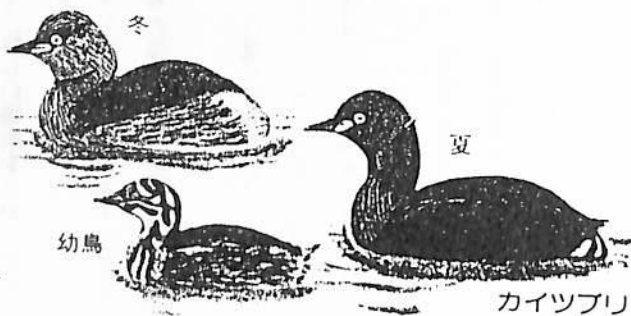
南公園の池のカイツブリは、数年前までは噴水の中心のタイヤのような所で子育てをしてました。

親鳥の背中から豆粒のような頭を出していたり、親に遅れないように泳ぐひなの姿は見ていて楽しいものでした。最近の噴水は水の浄化のために、一年中水を吹き上げるので、去年は池中の道近くの水蓮の茂っている所に巣を作り、四つほど卵をあたためていました。

人が近づくと、トボンと水に飛び込んでしまっても、すぐに近くの葉の間から巣の方を見つめていました。そのうちに人が来ても逃げなくなり、雨にも負けず風にも負けず、日がカンカン照る時でも、かわるがわる巣を守っていました。

ひながいつ生まれるかと楽しみにしていたある朝、巣にも巢の近くにも親鳥の姿が見えなくなりました。近くの岸に火花がらが散っていたから、夜中の花火に驚いて巣を捨ててしまったらしいのです。

今年の冬、中の道の北側を工事していたので、巣を作るのに適



当な場所も材料もなくなってしまいました。五月半ば、それでも苦心して二回巣作りをしましたが、どれも壊れてしまい、その後南公園の池から姿を消してしまいました。//よほど巣作り・子育てがしたくて、新しい場所をさがしに行ったのだろうかとは思いますが、どこへ行ってしまったのでしょうか。

ピッ、ピッ。ルルルル・・・と鳴く声や、トボンと水に潜る姿が見たくなって池めぐりをしました。

六月十七日

奥山田池 水がうんと減っていて、北岸は土が見えるほどで、ハクセキレイだけ見つけました。

大谷池

二十分ほど犬と遊びながら池を眺めていましたが、カイツブリの姿は無く、イワツバメとカワセミが下の池に一羽、上の池に二羽見られました。

大谷坂池

(緑丘学区)

こちんまりした池でアシ・マコモ・ガマがよく茂り、生活廃水がほとんど流れ込まず、気持ちの良い池です。カイツブリがすぐ姿を見せ、ルル・・・と鳴いてすぐアシの中に隠れました。

「ようやく見つけた!」
とうれしくて、岸辺に腰をおろしてまた出てくるのを待ちましたが、アシの中で動く気配はするのに、それっきり出てきませんでした。帰ろうか、とした時、西の岸近くからバンが、くいくいと現れました。池の中に島のようになつた低い木の茂みに入り、しばらくすると枝にのぼって木の葉をちぎっていました。バンが木によじ登るとは知りませんでした。

六月二十日

奥山田池

カイツブリが気になって奥山田池へ行ってみました。

ガマの根もとに上がったり、いろいろなしぐさを見せてくれましたが、きりがないので帰ってきました。
大谷池・奥山田池をのぞきながら来たら奥山田池にさつきは見られなかったカイツブリが一羽いました。

北側の枯れた木の枝が水につかっている所にごみがかたまっていました。どう見てもごみと落ち葉の固まりだったカイツブリがときどき近くに來るので「巢の作りかけかなあ。」と見ていた。そしたら、その木にカワセミが飛んできました。『うえじ』に載っていた、あのカワセミかなと思いつつしばらく見ていました。カワセミは、環境に順応する力を持っているので前から住んでいる所がだんだん汚くなくても、頑張っているけれど、この日の奥山田池は特に汚れていました。

翌二十一日、気になったのでまた出かけてみました。ごみのかたまりは、はつきりと巢の形となり二羽のカイツブリが少しずつ積み上げていました。水に使った枝の先にごみで作ったというのにも気になるが、近くに釣り人の台があるのが気がかりでした。

六月二十五日

奥山田池

水がうんと増えている、枝先は水の中に隠れ、カイツブリの巢は跡形も無く、一羽のカイツブリは池の中ほどでピッピッと鳴いたり、流れてくる大きなごみの上に乗ろうとしています。いくらやっても沈んでしまうごみをあきらめて岸の方に泳いできてルルル・・・と鳴いています。

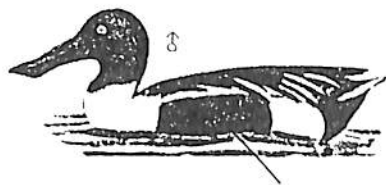
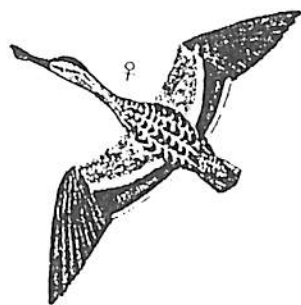
『鳩(かいつぶり)の浮巢』を作るには、南公園も奥山田池も材料を集めることが無理なのかなあとかわいそ

うになってしまいます。

数年前までは、奥山田池にはカイツブリが十羽以上もいて、いつも明るい声を聞かせてくれました。

三年前、ハシビロガモの大群が越冬し、円を作り口を水中に入れぐるぐる回ってえさを吸い上げていたのでカイツブリがいやがってか、追い出されたか、すっかり少なくなっていました。

南公園に比べれば奥山田池にはアシも生えていることだし、もう一度巢作りしてほしいと思います。



ハシビロガモ

毎月第一木曜日午前九時より南公園で、岡崎野鳥の会が探鳥会
をしています。集合は北東の芝生広場です。

奥山田池に一面の白い花

—白サギとの—か月—

若松東 斎藤 かをる

夏の奥山田池は、水が少なくなるせいもありますが、きたなく、くさく、ごみだらけで好きではないが今年の夏はせつせと出かけていきました。

八月なかば、暗くなってから犬を連れて池の横を通りました。

黒い林の東寄りにバツと白い花が一面に咲いていました。

「あれっ。」と思ったが、すぐ去年のことを思い出しました。

やはり暗くなってから、白木蓮の満開を思わせる木があり、

「今ごろ、咲くはずの無い花が、どうして？」と近づいてみると白鷺がびっしりと一本の木に休んでいたのです。去年は五十羽程でしたが今年は百五十羽ぐらいの見事な鳥の花でした。

ところが、もっといるようなので、九月なかばに、奥山田池に帰ってくる白鷺を数えたら五百羽を越えていました。

人によっては六百とも千とも言うので、九月二十八日に二人がかりで調べてみました。九百三十七羽の白鷺を確認しました。もう少しいたかも知れません。

以前、美合の日清紡績西の森に営巣地があり、日中キヤーキヤーにぎやかなのをみたことがありましたが、住宅が建ったというところからそのが移ってきたらしいのです。

「鳥語の口こみで、増えてきたのかなあ。」と一緒に見ていた人と話し合っていました。

北側の大分離れたところから奥山田池を見ると、緑の林を背景に白い鳥が飛んでいる風景は、暑い一日を過ごした目には、心休まる美しさだと思いますが、「きれいだ」と喜ぶ人に混じり「あれだけいると気持ち悪い」という人もいます。

花が咲いたように見事な白鷺の憩う姿も美しいが、三々五々西の空から帰ってくる群れの様子も美しいものです。

九月十一日夕、五時半に奥山田池につくように出かけました。頭の上をほとんど白鷺が池に帰って来るのが見られます。東の岸から見てみると、宵から夕映えの色に変わる空に、満くように白鷺が現れてきます。一羽だけで飛んでくるものもあるし、三十羽ほどまとまって来るものもあります。

池の上まで来て、すぐ木に止まるもの、一回りしてから木に止まるものとさまざまです。おもしろいのは、はじめに帰ってきたのは林の中ほどに広がって止まります。そしてほとんど帰ってきたころ、一羽また一羽と東の方へ移動し、最後には林の東半分にとまってしまおうということです。

そのころから、夜行性のゴイサギがクワックワックと鳴きながら、西の方へ飛んでいきます。

天候により、場所により美しさが変わり見飽きることがありません。見る方の人間も口こみで池へ来る人が多くなりました。

交通公園の西で三日間観察しました。南公園の池の上までいくのは風に流された時だけで、ほとんどのものは野球場の端すれすれより南の方を飛んでいるようです。

朝の出発風景もすばらしいと聞いたので、九月二十四日、五時十五分ころ池に行ってみました。

少したって一羽が枝移りしたのを合図に鳥語のおしゃべりが始まったようです。五時三十一分、十羽ほど南へ飛んで行ったあとは、十羽近い群れが次々に飛び立ちました。まるで、水が流れるような感じで白い帯のようになって西の方へ飛んで行きました。逆方向へ五羽飛んで行きましたが、十五分ほどで白鷺の姿はなくなりました。かわって、アオサギ三羽、カワウ二羽のほかには夜働いたゴイサギがのんびり帰ってくるのが観察できました。

一緒に見ていた鈴木さんの話だと今までと様子が違うようです。この日は曇り空だったからでしょう。晴れた朝にもう一度と思い九月二十七日に再び池に行ってみました。

五時三十五分一群が出かけたと思ったら戻ってき来ました。四十分から小さい群れが二、三行ったと思ったら、四十五分ころバサッと音がして、全部と行っていいほどの白鷺が枝から離れ、水面に白があふれました。すばらしい量感に圧倒されてしまいました。好きな言葉ではないけれど「すごい」「の一言でした」。

この朝が三回目という鈴木さんのお話によると、この前の晴れた日もこんな様子だったそうです。

あのすばらしさをもう一度見たいと思いつつも、朝寝好きの身にはなかなか実行できません。

夏鳥のアマサギ、チュウサギが越冬地への移動をはじめて十月になると白鷺の数も少しずつ減ってきました。

一番多く見送ったのは十月十日でした。夕空にまだ赤味が残り帰ってくる仲間がいる五時二十分から四十分までに四つの群れが旅立って行きました。二十羽・六羽・三十羽・二十三羽と仲間を作って行きましたが、それぞれ群れを作る様子が違うようです。

- ・ 林の中から一羽がすべり出たかと思うと、次々に飛び出してひとつの群れとなるもの。
- ・ 三羽ほどが水面を何べんも回り、どんな合図があったのか、さっと林の間から出てきて仲間となるもの。
- ・ 一度は六羽ほどで行ったものの、何度もとって来て、その度に仲間を増やしていくもの。

・一斉に飛び出して群れを作るもの。

一番星が光り出した西の空へ向かって行く群れは、どれも池へ帰ってくる時と違いスピード感が無く、漂っているような感じでした。こちらへ来るものと向こうへ行くものとの感覚の差だろうと思います。

十月十二日は曇だったせいか旅立ちは無く、次の二日間は雨だったので池へ行きませんでした。夕方青空が見えてきた十五日に見に行ったら、黄色のくちばしをしたのがまだ残っていて、一番星が輝いても飛び立つ気配がありません。もう帰ろうと犬の引き綱を取ろうとした五時四十分頃、サーッと三十羽ほどが飛び出してきて名残を惜しむ間もなく上地小学校の方へ飛んで行ってしまいました。

おそらく、あとは冬もいるコサギだけだと思っけれどこの林ですーっと過すつもりだろうか。

カルガモが十羽もう来ている。

三菱自動車工場見学に参加して

緑丘二丁目 中嶋 京子

自動車工場の内部を見る機会に恵まれ、大変嬉しく思いました。橋目町にある工場は、社員専用駐車場を見ただけで、大変広いなど実感しました。最初に総務課の人の説明を聞きましたが、総敷地面積は、野球場の五十倍だそうです。私たちが実際に目にしたのは、工場関係の部品工場や組立工場の周囲ですが、高い壁の向こうには、新車の開発や試作車を作り、走らせるためのコースまで完備されているそうです。

ここで働いている人は、約五千四百人で、工場で働く人が千七百人、その関係に働く総務の人が約六百人、後は開発などに携わる人達です。

自動車は、小さな工場では生産がむづかしい業種だと思いました。

総務の人の説明やビデオを見た後、本館一階にあるオートギャラリーで大変古い自動車の「みずしまT M 6 D」や最新テクノロジーを盛り込んだH S R R車など時代を感じさせる車に出会いました。

実際に工場内への見学となったのですが、建物から建物への移動にも送迎に使って下さったバスで、親切に乗せてもらいました。バスに乗っている時は、短時間で距離感がわからなかったのですが、プレスから溶接ライン、組み立てラインなど、内部を歩くと、長い道のりと思わずにいられますでした。私たちは二階から、下で働く人を見ながら見学できるようにしている道順に進みましたが、ラインの右側や左側には、自動車の部品を積んだ三輪車や、長い荷台のついた車が忙しそうに走っていました。

女性の姿は工場内には見られなく、案内の方に聞くと、女性はパートの方が入って働くことも少しはあるそうですが、やはりまだ男性の職場という感じがします。

この工場では、同じ車種を大量生産するのではなく、同じ組立ラインにギャランやシャリオなど一台一台、違う車に乗せ完成させていました。その方が、種類ずつ長いラインを作ったりするよりも、場所や労働力の面で、無駄が少ないそうです。優れた労働力や部品工場との生産協力があって、はじめてできるそうです。

ラインが終わる二、三メートル前から車を検査し、できたての車を走らせ、最終検査や水もれのテストなど、流れるように車は移動していましたが、向こうのラインに目をやれば、数分前までタイヤさえついてない車だったのに、もう走らせることに抵抗がないのかと驚いてしまいました。

子供たちは学校の学習や行事の中で社会見学に行き、親より多くのことを知っています。私もそのうち、自動車工場の見学ぐらいできると思っていましたが、PTA主催の工場見学に参加してよかったです。この機械に参加しなければ、一生行くことができなかつたかもしれません。

「おいでん施設めぐりに参加して」

一月二十二日はとても風の強い寒い日でした。私たちPTA三十一名は市からの送迎バスに乗って岡崎の施設めぐりに出発しました。

見学コースは市役所→東部給食センター→中央クリーンセンター→一般廃棄物最終処理場→奥殿陣屋→八丁味噌の順です。

まず、市役所では日頃縁のない市議会の会議場に案内され、そこで市職員の方からお話を伺いました。市のいろいろな仕事を理解するには、施設などを実際に見学してもらうのが一番だということ、最近の不景気で預貯金が減ったために利子にかかる二十%の国税のうち、市に入る五%の分も減ってしまい、市の予算にも深刻な影響を与えているなどの話がありました。

さて、次は美合町にある東部給食センターへ着きましたが、寒風吹きすさぶ中を建物の外から中をのぞくだけでちよつと残念でした。当日のメニューは松茸の水煮缶を使った松茸ご飯でした。また、毎日一万食あまりを作っていると聞いて、おどろきながら苦労様と感謝の念を深くしました。なお、美合の他にも三か所の給食センターがあるということでした。

次は高隆寺町のクリーンセンターの見学です。市の総合グラウンドの敷地内にそびえ立つ、約九十億円を投じた建物は、美術



上地七区 磯山 照江



館と見間違ふほどの立派なものです。まず、概要説明のビデオを見てから所長さんのお話を伺いました。

このセンターの一年間の維持費は何と学校がひとつ建設できるぐらいの金額になり、ごみの処理作業は量がとても多いので二十四時間休みなく行っているそうです。また、エアーカーテンを使って外部へ悪臭が漏れるのを防いだり、その悪臭を炉の中に取り込んで燃やして消すようにしているし、排気ガス中の有毒成分は消石灰で別の物質に変えてから排出しており、ばい煙の中のチリやホコリは静電気を使った集塵機で吸い取って灰にしてから捨てている、などのいろいろな工夫をしているということでした。その結果、煙突から出ている白く見える煙は、大気汚染の原因になるような有害ガスなどではなく、ただの水蒸気であり、環境汚染の心配はまったくないという説明を聞いて感心、そして安心しました。

また、ゴミの分別収集についてもお話がありました。食品の包装に使われたビニールやトレー、醤油やソースなどがはいっていたビニールやプラスチックの容器は可燃物として捨て、それ以外のビニールやプラスチック製品は不燃物として捨てて下さいとのことでした。どうしてかと不思議に思いましたが、可燃物として燃やしてしまえば食品の残りが腐敗したり悪臭を出すこともないし、そういう心配のない、食品の含まれていない不燃物は別の廃棄物処理場で処理できるからだという説明を聞いて納得しました。ゴミ処理の現場を見学して、いろいろと考えさせられました。まだまだ着られる衣類や使える製品を惜し気もなく捨ててしまうことや、スーパーなどで買う商品の過剰包装など私たちが反省することはたくさんあります。昔とは比べ物にならないほど物質的には恵まれるようになった日本は、それと引き替えにいろいろな問題に直面しているようにも思いません。

さて、話が大きくなりましたが、次の見学地は大給松平家の奥殿陣屋です。四季折々花の咲き乱れる、とても静かな手入れの行き届いた庭園を觀賞しながら、おいしい昼食をいただきました。

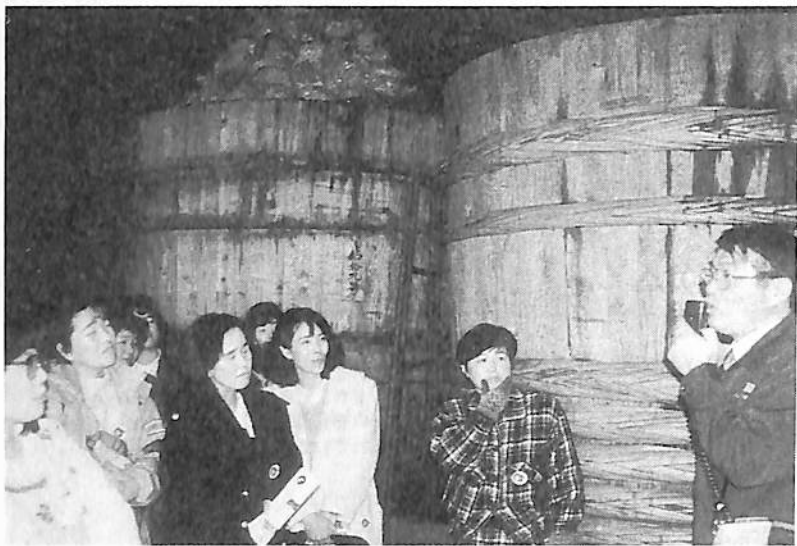
見学の最後は、私の一番見たかった『八丁味噌』です。久マークのあ

る大正時代の雰囲気を残した建物、昔ながらの味噌倉など、一度は訪ねてみたいと思っていたところでした。

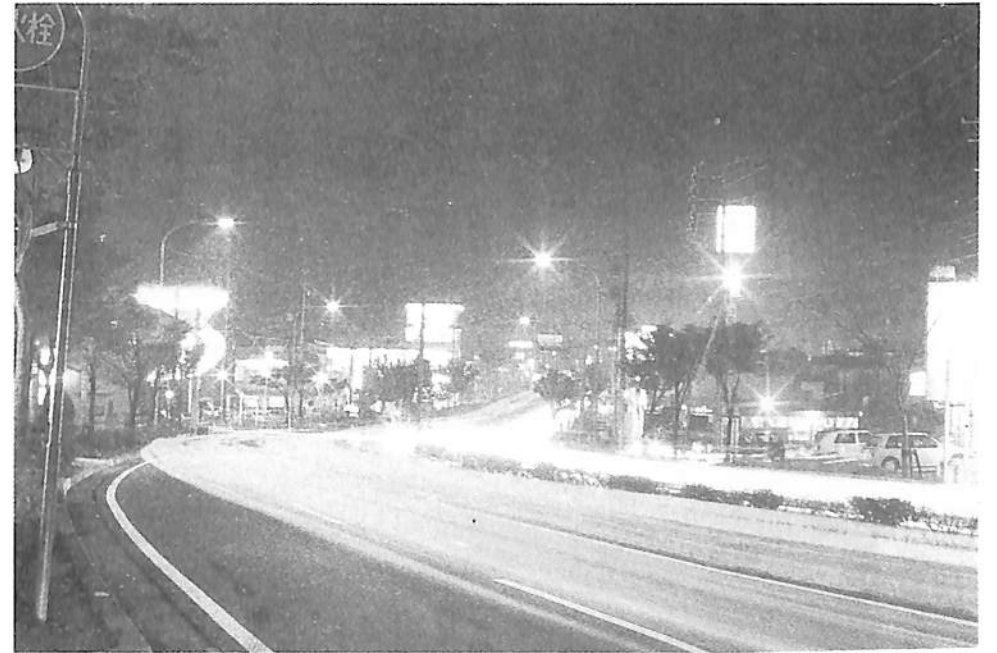
十八代、数百年続いているというこの会社の味噌の製法は、昔と全然変わっていないということです。国内産の大豆を蒸して、豆麴にして塩水で仕込み、その上に重しの石を置いて、足かけ三年の間、天然熟成させるのだそうです。防腐剤などの食品添加剤は一切使用しないが、三年たつと樽の上から三十センチメートルほどはかびてしまうので、その部分は捨てるというお話でした。ちなみに、大豆を蒸すと赤味噌が、煮ると白味噌ができるのだそうです。

ここは前もって申し込んでおけば、少人数でも見学できるそうです。気の合ったお仲間で、お出かけになってはいかがでしょう。

いろいろと変化に富んだ施設を見学させて頂きましてありがとうございます。お世話になった係の先生や、PTAの役員の方々、市役所や各施設の方々に御礼申し上げます。なお、この見学の日の我が家の夕食時には、味噌煮込みうどんをいただきながら、岡崎を巡るいろいろな話題に花が咲いたことを申し添えておきます。



新上地八景



3 夜景上地坂

国道248号線は「ニイヨンバア」と愛称され、買い物や通勤にも欠かせない生活道路ともなっている。ツバキやツツジの開花時の美しさは目をひく。自動車のライトが行き交う夜景は都市感にあふれている。

あとがき

『ふるさと上地その6』の発刊をむかえることができました。学区、学校の接点としての役割を持つ学校だより「上地」（月刊）を項目ごとにとまとめました。

取材にあたっては、学区の方々はじめ多くの方々から親切に教えていただきました。厚く御礼申し上げます。

私たちは、この冊子を作るにあたり、次のことを念頭に置いて進めてまいりました。

一、手作りであること

二、足で調べたり書いたりしたものであること

三、できるかぎり子どもにも参加してもらうこと

力不足のため、或は調査不足のため、記載事項に誤りもあろうかと思えます。その節は遠慮なく指摘して頂き、ご指導をお願いしたいと思います。

本年度は、学区・学校創立十周年を迎え、意義深い記念式典が行われました。これを契機に、郷土「上地」の良さをさらに認識し、住みよい上地、発展する上地を作り上げる一助となれば幸いです。

岡崎市立上地小学校教務主任 菅沼 剛

研 究 同 人

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 深津 武司 | 松原 晁三 | 菅沼 剛 | 長坂 信一 | 竹内 孝之 |
| 守山 妙子 | 熊谷 洋子 | 鈴木 純子 | 遠山 洋子 | 鈴木 尚子 |
| 坂爪ひとみ | 杉田 雅子 | 土屋 恵子 | 岡本きみゑ | 高橋由美子 |
| 満本 妙子 | 酒井 幾子 | 奥村 武文 | 木村 和子 | 高田加代子 |
| 名倉 嘉章 | 森下 初子 | 杉浦 美香 | 鶴田 秀幸 | 杉本 峰 |
| 田中 鉄也 | 松永 千鶴 | 竹平 真仁 | 松坂 禎文 | 小田 英宜 |
| 深津 伸夫 | 西田 貴子 | 寺澤祐喜江 | 太田 明美 | 神谷二左絵 |
| 金澤 君代 | 今枝 弘子 | 唯内由紀子 | 杉浦千枝子 | 酒井 啓子 |
| 岩瀬 幹夫 | | | | |

ふるさと上地 6

発行日 平成5年3月19日

発行者 岡崎市立上地小学校

校長 深津 武司

岡崎市上地3丁目31番地

電話 (0564) 53-0501

印刷所 大日印刷株式会社

